小・中学校が連携した英語教育の進め方について

	現状と課題	児童・生徒の英語力向上と教員の指導力向上
小学校	・現在、5・6年生 外国語活動 年35時間 〇H30年度より段階的に教科化を実施 ・3・4年生 外国語活動 年35時間 ・5・6年生 英語科授業 年70時間 <教員> ・英語力向上のため、ラジオ講座等を全校で視聴 ・教科化に向けた授業案、教材、評価テストの作成が必要 ・全教員の指導力向上が必要	 か小学校の英語教科化に向けた指導案および県独自の教材を作成 ・指導案および評価テスト (スピーキング、リスニング、筆記テスト)、副教材の作成 ・教材の活用方法や評価に関する研修を実施 (2300 名 29~30 年度) ・英語を教えるヒント集 (日本語と英語の比較など)の作成・活用 ・全学校で授業公開を実施 (指導主事が訪問指導) 〇小学校教員の研修を中核教員だけでなく担任教員に拡充 ・各校のリーダーを対象とする中核教員研修 (191 名 27~28 年度) ・5・6 年生担任研修(382 名 28~29 年度) ・発音指導法・NHK語学番組活用研修 (小学校 1~6 年生担任または管理職 800 名 28~29 年度) 〇退職教員、地域人材による外国語活動の支援
中学校	<生徒>英検3級相当 全国3位 27年度 28年度 全国35.6% 36.1% 福井42.7% 46.5% <教員>英検準1級相当全国1位27年度28年度全国29.3%31.8%31.8%36 全国29.3%31.8%36 右井51.7%56.3%	 ○話す力をつける授業、校内でのスピーキング評価とともに外部検定を活用 中学3年生と高校1~2年生に英検・GTEC 等の外部検定受検料を補助
高校	<生徒>英検準 2 級相当 全国 2 位 27 年度 28 年度 全国 33.7% 36.4% 福井 42.5% 44.8% <教員>英検準 1 級相当 全国 2 位 27 年度 28 年度 全国 60.0% 62.2% 福井 86.6% 85.8%	・ICT機器の活用による海外の高校生との交流、英語ディベート大会参加校の拡充、海外語学研修の実施 ・「ふるさと福井のよさ」を中学生や高校生が自作したPRカードを使い発信 28年度 福井商業、勝山北部中などが実施 〇福井県版オリジナル英語教材の配布 ・高校1年生(普通科)に対し「福イングリッシュ」を、高校1年生(商業系)に対し「ワードオーダードリル」を配布